

山瀬小児童「大館ワンだふる給食」を楽しむ



大館市の山瀬小学校の児童が18日、地元の食材をふんだんに使った「大館ワンだふる給食」を楽しんだ。＝写真。

献立は比内地鶏みそラーメン、サラダ、おからドーナツなど5品。市内産のリン

ゴやトングリ、エダマメ、釈迦内小サンフラワープロジェクトのひまわり油などが使われている。

校内放送では、食材を紹介した後、「おめがだ、味わって、けー」とアナウンス。

児童はおいしそうに食べ、教室に笑顔が広がった。久留嶋晃佑君(6年)は「比内地鶏入りのラーメンは特別感があって、めっちゃおいしい」と話した。

大館ワンだふる給食は、市教育研究会栄養部会が2017年度から実施。今年は11月1日までに市内の小中27校で1回ずつ提供される。(田中敏雄)

(令和4年10月19日(水)秋田魁新聞「ふきのとう」より一部抜粋)